

令和元年6月吉日

関係機関の長 殿

弘前大学  
放射線安全総合支援センター長  
柏倉 幾郎  
(公印省略)

「令和元年度弘前大学被ばく医療プロフェッショナル修了後研修」講演会  
の開催について(通知)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学の教育・研究につきましては、平素から格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では平成22年度から、被ばく医療に即応可能な人材育成プログラム「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」の実施と体制整備に取り組んで参りました。

このたび、本プログラム修了生の知見を深めることを目的に、標題の講演会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、一般の方にも広く公開いたしますので、教育・行政に携わる皆様にぜひご参加いただきたく、関係各位に周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 令和元年7月19日(金) 14:00～15:05
2. 場 所 弘前大学大学院保健学研究科(青森県弘前市本町66-1)  
F棟1階大学院講義室1
3. テーマ 「東京電力福島第一原子力発電所事故による  
放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策について」
4. 講 師 笠松淳也 氏(環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当参事官)

【本件担当】

弘前大学保健学研究科 総務グループ(桑田)  
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1  
TEL: 0172-39-5518 FAX: 0172-39-5912  
E-mail: hh\_hh@hirosaki-u.ac.jp

# 「令和元年度弘前大学 被ばく医療プロフェッショナル 修了後研修」講演会

「東京電力福島第一原子力発電所事故による  
放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策について」

## 概要

東日本大震災から8年余りが経過し、帰還困難区域を除くほとんどの地域の避難指示解除が実現するなど、福島の復興・再生に向けた動きが本格的に始まっています。県民健康調査やリスクコミュニケーションについてご紹介することにより、放射線健康管理に関する福島の現状、被災者や地域の方々のニーズの多様化やその中で求められる支援のあり方、放射線の健康影響などについて考えていただく際のご参考になればと思います。

**講師** : 笠松 淳也 氏

環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当 参事官

**日時** : 令和元年7月19日(金)  
14:00～15:05

**会場** : 保健学研究科F棟1階  
【大学院講義室1】

**対象** : 学生・教職員どなたでも。事前申込不要

**共催** : 弘前大学大学院保健学研究科被ばく医療人材推進委員会  
放射線リスクコミュニケーション教育部門  
弘前大学被ばく医療総合研究所

お問合せ 保健学研究科 桑田 TEL:0172-39-5518 kuwata@hirosaki-u.ac.jp